

令和4年7月26日(火)
国土交通省 関東地方整備局
京浜河川事務所

記者発表資料

鶴見川流域に新たに5つの応援団が加わりました！ ～ 水マス推進サポーター認定 ～



鶴見川流域では、「鶴見川流域水マスタープラン(通称:水マス)」を策定し、市民、市民団体、企業及び行政が連携して水循環系の健全化に取り組んでいます。

この取り組みの促進のため、流域貢献活動を行っている団体を水マス推進サポーターとして、令和4年7月4日、認定証を5団体に交付し、新たに登録しました。



例年、水マス推進サポーター認定式を開催しておりますが、昨年度と同様に令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、認定証の交付をWEB開催とし、実施しました。
(町田市立高ヶ坂小学校は、当日都合により欠席となりました。)

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、神奈川県政記者クラブ、東京都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

副所長 藤枝 達也(ふじえだ たつや) 代表 045-503-4000

流域調整課長 金子 陽輔(かねこ ようすけ) 直通 045-503-4009

■水マス推進サポーター制度

鶴見川流域では、平成16年8月に鶴見川流域水協議会（国土交通省、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、町田市、稲城市）により策定された「鶴見川流域水マスタープラン（通称：水マス）」の普及啓発を図るため、関係する流域の市民団体、企業及び行政により「ふれあって流域鶴見川実行委員会」を設置し、水マス啓発の活動を進めています。

この取り組みの一つとして、水マスのビジョンに沿った「流域貢献活動」をすでに行っている団体・企業を鶴見川の応援団「水マス推進サポーター」として認定し、それぞれの主体による「流域貢献活動」を通じて水マス推進のための情報交換や貢献活動の連携の輪に加わって頂くための仕組みが「水マス推進サポーター」制度です。

「水マス推進サポーター」制度は平成22年度からスタートし、令和4年度新規認定サポーターの5団体を含めて163の団体・企業となります。

■令和4年度「水マス推進サポーター」認定団体一覧

団体・企業名	活動内容	活動場所
町田市立高ヶ坂小学校 (まちだしりつこがさかしょうがっこう)	○高ヶ坂松葉調整池での学習、恩田川の総合学習	高ヶ坂松葉調整池
株式会社アルプス物流 (かぶしきがいしゃあるぷすぶつりゅう)	○“花咲く鶴見川”アクションプランの7拠点の一つ、新羽地区のノカンゾウの育成を支援	新羽橋上流左岸本社敷地等
フローラル綱島 (ふるーらるつなしま)	○地域一体となって、花壇やコンテナを増やし、グリーンインフラの拡大、雨水貯留タンク設置の呼びかけ	横浜市綱島
横浜北生活クラブ生活協同組合つなしま デポー運営委員会 (よこはまきたせいかつらぶせいかつ きょうどうくみあいつなしまでぼーうんえい いいんかい)	組合員を中心に定期的な川辺のクリーンアップと水マス学習	綱島河川敷
横浜北生活クラブ生活協同組合コモンズ 運営委員会 (よこはまきたせいかつらぶせいかつ きょうどうくみあいこもんずうんえいいいん かい)	組合員を中心に定期的な川辺のクリーンアップと水マス学習	綱島河川敷

※水マス推進サポーター規約及び認定団体一覧につきましては、以下の京浜河川事務所HPをご覧ください。

https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index052.html

水マス推進サポーターの活動状況（1）

町田市立高ヶ坂小学校（まちだしりつこがさかしょうがっこう）

【団体概要】

町田市立高ヶ坂小学校の5年生の授業では高ヶ坂松葉調整池での環境学習や恩田川での総合学習を実施している。

【水マス支援活動】

高ヶ坂松葉調整池は多自然型の調整池となっており、水辺の生き物が多く生息している。この環境を活用して、水辺の生き物や調整池の機能について学習を行っている。

npo源流ネットと恩田川の会が活動のための道具の貸し出しや解説など学習支援を行っている。



高ヶ坂松葉調整池での学習、生き物調査・カルガモの観察

水マス推進サポーターの活動状況（2）

株式会社アルプス物流（かぶしきがいしゃあるぷすぶつりゅう）

【団体概要】

本社が、鶴見川・新羽橋左岸に隣接。

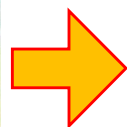
電子部品の保管・運送・フォワーディング等のサービスを一貫して提供する「総合物流企業」として、国内外の広範な物流ネットワークをベースに、貨物の多彩な「物流個性」をとらえたサービスを提供している。

【水マス支援活動】

“花咲く鶴見川”アクションプランの7拠点の一つ、新羽地区のノカンゾウの育成を支援



本社敷地一角にノカンゾウ植え付け



ノカンゾウ開花



新羽橋上手左岸にノカンゾウ50株移植

水マス推進サポーターの活動状況（3）

フローラル綱島 （ふろーらるつなしま）

【団体概要】

綱島の各組織をつなぎ、地域連携を図りながら、緑化による街づくり、川づくりを通して、グリーンインフラが治水貢献につながる活動を推進している。持続可能な活動となるよう町内会や商店街と連携し地域一体となって活動している。

【水マス支援活動】

① 〈グリーンインフラの拡大活動の支援〉

緑化活動を推進すると同時に、雨水貯留タンク設置の呼びかけなどグリーンインフラの拡大と同時に水防災活動への貢献活動の推進をしている。花壇づくりやコンテナを増設することによって、雨水貯留量を増やす活動を意識してかつ実践している。

② 〈雨水貯留タンク設置の呼びかけ〉

水やりの工夫として雨水貯留タンク設置の呼びかけをして、治水貢献活動を推奨している。



花壇づくり



雨水貯留タンク設置

水マス推進サポーターの活動状況（４）

横浜北生活クラブ生活協同組合つなしまデポ一運営委員会

（よこはまきたせいかつくらぶせいかつきょうどうくみあいつなしまでぽーうんえいいんかい）

【団体概要】

生活協同組合である生活クラブの中の組織。国産、無添加、減農薬、こだわりの安心食材を取り扱う生協である。自然と共生し、食べ物（Food）、エネルギー（Energy）、福祉（Care）をできる限り自給・循環させる「サステイナブル（持続可能）な生き方」をするためには、身近な地域に目を向け課題を解決していくことが大切だと考える。

【水マス支援活動】

TRネットの協力で鶴見川流域を理解する講座を開いたり、綱島河川敷のクリーンアップ活動を展開したりしている。港北 commons 運営委員会との共催で活動している。



〈「鶴見川流域に生きる」三回連続講座の開催〉

「生きもの」「水質」「治水」という3つのテーマで、講座が開催されました。この講座を通して「自分が住む地域も流域に含まれているということに気づいた」などの声が聞かれた。



河川敷のゴミに心を痛めた組合員が、ゴミを拾い始め、初めは4～5人で始めたものが今では20名超が集まるような活動に展開をさせ、継続中。

水マス推進サポーターの活動状況（5）

横浜北生活クラブ生活協同組合港北 commons 運営委員会

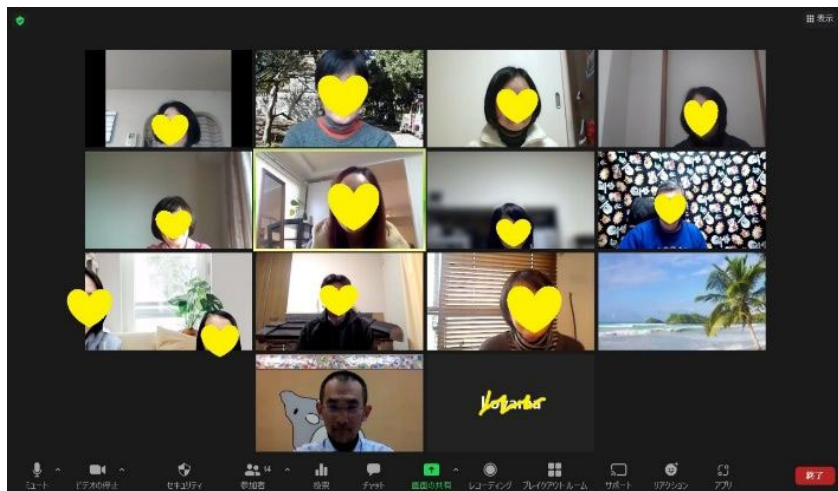
（よこはまきたせいかつくらぶせいかつきょうどうくみあいつなしまでぽーうんえいいんかい）

【団体概要】

生活協同組合である生活クラブの中の組織。国産、無添加、減農薬、こだわりの安心食材を取り扱う生協である。自然と共生し、食べ物（Food）、エネルギー（Energy）、福祉（Care）をできる限り自給・循環させる「サステイナブル（持続可能）な生き方」をするためには、身近な地域に目を向け課題を解決していくことが大切だと考える。

【水マス支援活動】

TRネットの協力で鶴見川流域を理解する講座を開いたり、綱島河川敷のクリーンアップ活動を展開したりしている。つなしまデポー運営委員会との共催で活動している。



〈「鶴見川流域に生きる」三回連続講座の開催〉

「生きもの」「水質」「治水」という3つのテーマで、講座が開催されました。この講座を通して「自分が住む地域も流域に含まれているということに気づいた」などの声が聞かれた。



河川敷のゴミに心を痛めた組合員が、ゴミを拾い始め、初めは4～5人で始めたものが今では20名超が集まるような活動に展開をさせ、継続中。

鶴見川流域水マスタープランの概要

鶴見川では洪水、水環境、自然環境、震災・火災、親水に対して、総合的に取り組むことによる「健全な水循環系の構築」を目指し、流域の市民、市民団体、企業、行政が協力して平成16年8月に鶴見川流域水マスタープランを策定しました。策定から10年以上が経過し、これまでの取組みを見直し、地球温暖化など近年の状況を踏まえ、平成27年12月に鶴見川流域水マスタープランを改定しました。

(鶴見川流域水マスタープラン ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/keihin_index049.html)



■ 計画の内容

河川及び流域における水害の発生、河川流量の減少と水質汚濁、自然環境の悪化、震災・火災時の防災、減災、水辺とのふれあいの不足の問題・課題に対し、流域の社会動向を踏まえ、水循環系の視点から流域的視野で取り組むべき対応策を以下の5つの流域水マネジメントにまとめています。

<基本方針>

<水マス5施策>

洪水時水マネジメント

☆洪水の危険から鶴見川流域を守ります

- ・流域が一体となった治水安全度の向上
- ・水害に強いまちづくり
- ・地球温暖化に伴う降雨量及び降雨強度の増大、海面上昇等の変化への適応
- ・小流域への豪雨による土砂災害への適応
- ・大規模震災に備えた津波に強い河川施設等の整備

平常時水マネジメント

☆豊かで清らかな水環境を創出します

- ・支川の自然の流量を確保
- ・地下水の保全・涵養と湧水の復活
- ・子供たちが水遊びでき、多様な水生生物が生息・生育・繁殖できる水質に改善
- ・東京湾への汚濁負荷の削減
- ・水を再利用する社会の実現

自然環境マネジメント

☆流域のランドスケープ、生物多様性を保全・創出・活用し自然とふれあえる都市を再生します

- ・流域に残された自然環境の保全
- ・水と緑のネットワークの保全・回復
- ・身近な自然と共生する都市の再生

震災・火災時マネジメント

☆震災・火災時の危険から鶴見川流域を守ります

- ・河川を生かした災害に強いまちづくり
- ・河川とまちの連携による防災ネットワーク化

水辺ふれあいマネジメント

☆河川とのふれあいを通じて、流域意識を育むうるおいのある暮らしを実現します

- ・流域学習の促進
- ・多様な資源を活用した流域ツーリズムの推進
- ・流域の環境に負荷をかけない暮らしの実践